



2025年度 3月号
尚徳福祉会 生麦保育園

さわやかな風が吹き、園庭のプランターではチューリップが少しずつ背を伸ばし、花を咲かせる準備を始めているようです。保育園の玄関にはお雛様が飾られ、華やかな雰囲気です。春の訪れを感じます。

幼児組になり初めての運動会やおたのしみ会など、いろいろな行事に参加して心も体も4月に比べて大きくなりました。この1年で主体性や考える力、工夫して創造する力などが伸びてきました。これからもさまざまな経験を積み重ねて、大きく成長していくことを願っています。うさぎぐみでの残り1か月を大切に、元気に楽しくすごしていきたいと思います。



～おさんぽだいすき～

散歩に出かけるのをとても楽しみにしている子どもたち。“散歩に行こう”と声をかけると『いこう!』と即答で玩具を片づけて、戸外に出る支度を自分たちから始めています。1番の人気は河川敷です。高速道路を走る車を見たり、鶴見線の電車を見たり、川辺の生き物を見つけたりしています。河川敷での大人気スポットは坂道とちょっとした崖です。崖のぼりを初めは上手く登れずに、ズルズルと滑り落ちてしまうこともありました。が、何度かやっているうちに手や足をどこに置いたらいいのかを考えて、上りきることができるようになってきました。下るのは滑り落ちるのが少し怖いと感じよう、お尻を地面につけて滑り台のように滑っている子もいました。『やったー』『のぼれたー』『できた』と大喜び。園に戻る道中に子どもたちからは『たのしかった』『またこようね』という声が聞こえてきました。

～つくるってたのしいね～

制作が大好きな子どもたち、保育者が絵の具やハサミやのりなどの準備を始めると「なにをするの?」「みせて」「つくりたい」とテーブルの周りに集まってきました。2月はお雛様と雪だるまを作りました。

お雛様のことは、絵本や紙芝居で何度か見聞きしているので知っている様子でした。いろいろな千代紙の中から好きな色と柄を選び紙コップに巻き付けて着物にしました。「きものをきているんだよ」「おとこのひとも、きものなんだね」など話をしながら作っていました。保育者がおだいりさまの笏(しゃく)とお雛様の扇子を折り紙で用意していると、子どもたちは「これどこにつけるの?」と「おうちの、おひめさまがうちわをもってる」と話をしながら貼り付けて素敵な作品になりました。

～みんなともだち～

最近の子どもたちは、お友だちとの遊びがとても広がり、一緒にごっこ遊びやままごと、なりきり遊びをすることが多くなりました。一緒に遊ぶ中で、お友だちとの距離感や関係性がより近く深いものになってきたので、子どもたちとプライベートゾーンについての話をしました。

大好きなカミナリドンの手遊びをしながら、服で隠れているからだの部位の話をしました。なぜ洋服で隠れているのか、とても大切で人に見せたり触らせたりしてはいけない所であることを伝えました。また、もしもお友だちが触れようとしたら「やめて」「いやだ」と言葉で伝えることも話しました。どうぞ、家庭でも話をしてみてくださいね。

4月のことがつい先日のように感じます。毎日のあそびやさまざま行事を通して、子どもたちはここを豊かに成長してきました。至らないことも多くあったと思いますが、保護者のみなさまの温かいご理解とご協力のおかげで、とても楽しく過ごすことができました。子どもたちの成長を喜び、見守っていただけたこと、とても感謝しています。1年間ありがとうございました。